

厚生労働省 令和7年度 介護現場の生産性向上に関する
普及加速化事業

ビギナーセミナー

【開催地域】 西日本
【事業所名】 介護付き有料老人ホーム SJR別院 手島

©2024 厚生労働省 令和6年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式



取り組み全体の流れ

(取組手順)



手順 1 : 改善活動の準備 「業務改善に取り組む体制づくり」

(取組手順)



手順 1 : 改善活動の準備 「業務改善に取り組む体制づくり」

組織全体での合意形成

SJR別院は開設以来、支配人の指揮のもと業務委託や介護機器・ロボットの導入、夜勤体制の見直しなど常に業務改善や職員の負担軽減に取り組んできました。

令和6年度介護報酬改定の生産性向上推進体制加算の新設を機に、課題を見える化し、問題解決に取り組むことを共有しました。

手順 1 改善活動の準備 「業務改善に取り組む体制づくり」

「生産性向上推進委員会」の立ち上げ

- ・会議開催:毎月 1回
- ・開催時間:1時間程度



手順 1 : 改善活動の準備 「業務改善に取り組む体制づくり」

支配人…統括責任者
介護リーダー…リーダー
サポート部長
介護長
介護サブリーダー
介護チーフ
機能訓練指導員

と各階層からのメンバーを選出した。

手順 2 : 現場の課題の見える化

(取組手順)



手順
2

現場の課題を
見える化しよう

手順 2 : 現場の課題の見える化



手順 3 : 実行計画を立てる



手順
3

実行計画を
立てよう

手順3：実行計画を立てる

- 1) 職場(現場)環境の整備
- 2) 情報共有の工夫
- 3) 業務全体の流れの再構築

手順3：実行計画を立てる (具体的な実行計画)

- ① 職場(現場)環境の整備
 - ・ 各階の棚の位置、書類の位置を統一
 - ・ アクティビティで使用する物品の位置を提示
- ② 情報共有の工夫
 - ・ 全フロア紙媒体の申し送りを中止しパソコンで表示
- ③ 業務全体の流れの再構築
 - 全館のシーツ交換を1日で行う

手順4:改善活動の取組

D

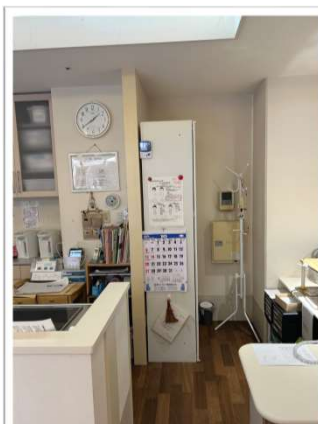
手順
4

改善活動に
取り組もう

手順4:改善活動の取組 ①職場（現場）環境の整備

活動前 業務に必要な書類や備品の置き場が3フロア違う

1階スタッフコーナー



2階スタッフコーナー



3階スタッフコーナー



手順4:改善活動の取組 ①職場（現場）環境の整備

各階の棚の位置、書類の位置を統一

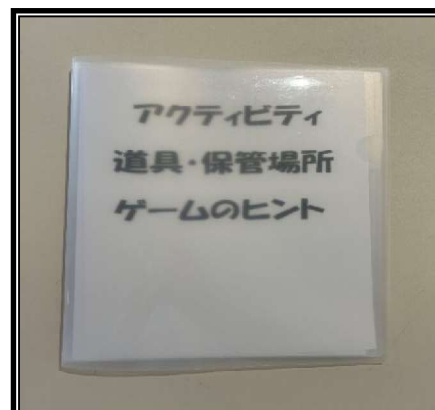
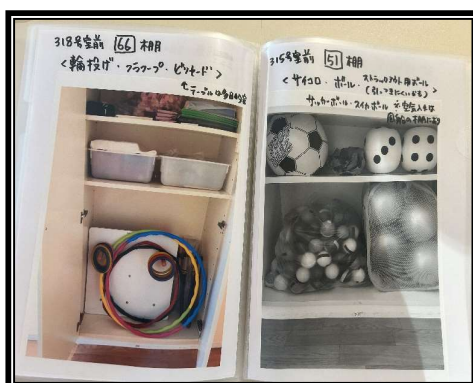


整理整頓を行うことで必要な情報をすぐに取り出せる環境を作る

©2024 厚生労働省 令和6年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式

手順4:改善活動の取組 ①職場環境の整備

アクティビティで使用する物品の位置を提示



アクティビティの準備時間を短縮できるようにする

©2024 厚生労働省 令和6年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式

手順4:改善活動の取組 ②情報共有の工夫

全フロア紙媒体の申し送りを中止しパソコンで表示



紙媒体からデジタル化へ
全館どこでも各階の申し送りが確認できる
必要な情報を取り出しやすいようにする

©2024 厚生労働省 令和6年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式

手順4:改善活動の取組 ③業務全体の流れの再構築

全館のリネン交換
1～2時間×5回/週 ➡ 7時間×1回/週へ変更



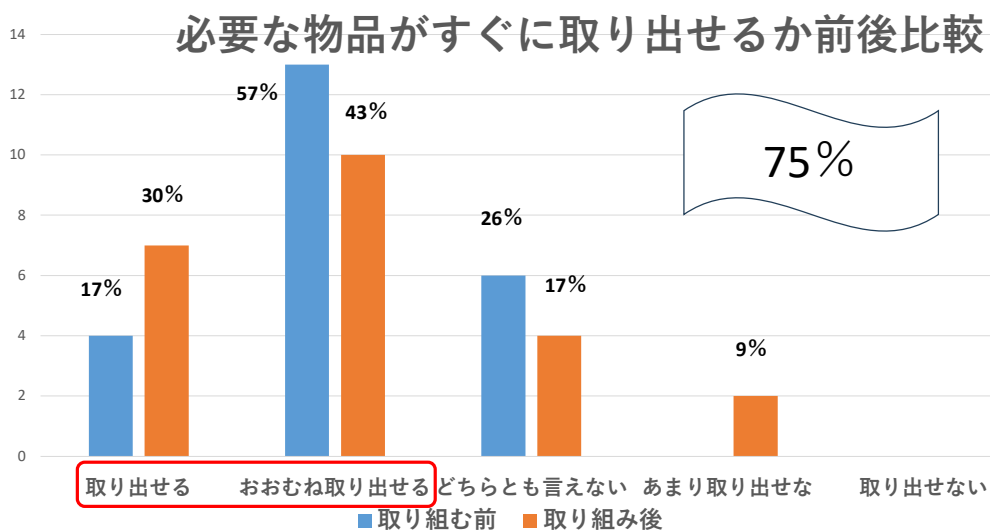
リネン交換人員がご入居者対応へあてられるようになる

©2024 厚生労働省 令和6年度 介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式

手順5:改善活動の振り返り（取組の成果）

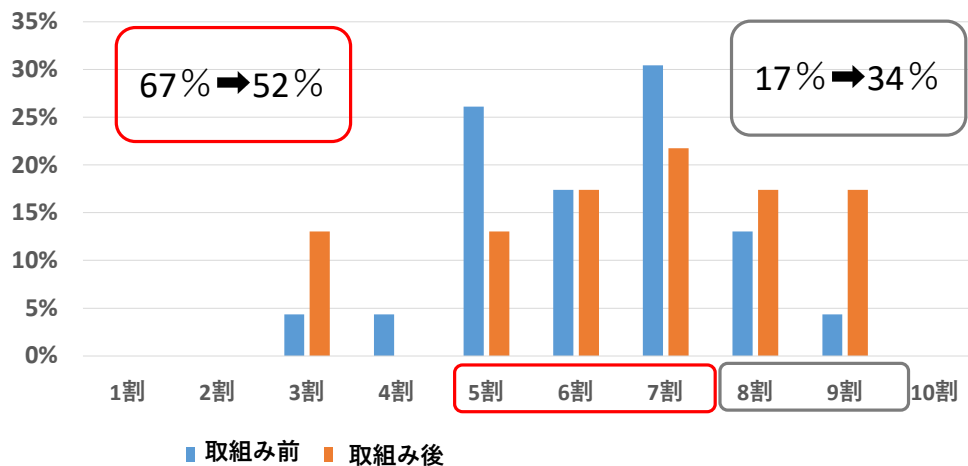


手順5:改善活動の振り返り（取組の成果）



手順5:改善活動の振り返り（取組の成果）

物品の把握割合 前後比較



手順5:改善活動の振り返り（取組の成果）

②情報共有の工夫

全フロア紙媒体の申し送りを中止しパソコンで表示

- ・申し送りに手書きする時間が省けた
- ・外国人スタッフが読みやすくなった
- ・翻訳アプリでの読み取りがしやすくなった
(手書きだと字の上手下手がある為)

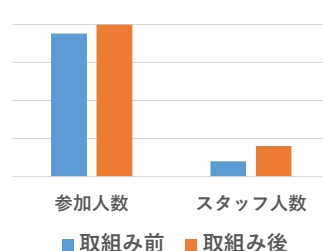
手順 5 :改善活動の振り返り（取組の成果）

③業務全体の流れの再構築

毎日のアクティビティ

- ・ご入居者の参加人数 取組み前18.8人/日 取組み後20.0人/日
- ・スタッフ人数 取組み前平均2名/日 取組み後平均4名/日

ご入居者の声:「たのしい」
「毎日違う事をしてもらえて嬉しい」
スタッフの声:「施設オリジナルの体操を作りたい」
「準備時間が取れるようになり、やれることのバリエーションが増えた」



手順 5 :改善活動の振り返り（テクノロジーの導入）

①見守り機器導入

見守り機器導入により

夜勤の人員体制を見直す

深夜時間帯の訪室巡回を見守り機器で行うことで巡回時間の短縮

②タブレット 導入

タブレット導入によりケア記録入力業務時間短縮

PC 5台 ➡ PC 3台 とタブレット 7台（計 10台）

まとめ

まとめ：業務改善を進める上で苦労したこと工夫したこと

苦労したこと

- ・意識の統一を図る
- ・取り組みを理解してもらう
- ・整理整頓の意識向上
- ・PCやタブレット、機器の使用方法への抵抗感をなくす

まとめ：業務改善を進める上で苦労したこと工夫したこと

工夫したこと

- ・取り組んでいる内容の透明化
(進捗状況など全職員が見れるように取り組む)
- ・まずはやってみる
- ・抵抗を感じない程度からの取り組み
- ・見やすく、わかりやすく

まとめ

- ・今回は小さな改善だったが、成果を実感でき自信につながり、今後の改善にも意欲をもって取り組めると思う
- ・SJR別院の強みである毎日のアクティビティの充実を図ることができて良かった

